

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.9.24

No. 45

今年も厳しい就職戦線！！



少しづつ就職希望者の結果が報告されてきています。まだ発表は一部でしかありませんが、やっぱり今年も厳しそうだという印象を強く感じています。現在合格者数より不合格者数の方がやや多くなっています。直接合否の手紙が届く前に、企業から「ちょっと先生にお話ししたいことがありますのでこれからおじゃましても良いでしょうか」という電話を頂いたときは、身の縮まる思いがします（すでに何社もありました）。3年の担任の先生からすると私の顔を見ると（また不合格者の報告ではと）どきりとするというお話も聞きます。

不合格者の理由を企業の方にお聞きすると、「人柄はよいのだが、基礎学力がなくて」というようなことを決まっていわれています。今更皆さんに言っても仕方がないのかもしれませんが、二次試験で同じことを言われないようにこの反省を次回に活かして欲しいものです。

今回うまくいかなかった人は次をどうするかということですが、もしその後来た求人票の中で適当なものが有れば、早めに申し込んでください。これからは申し込み〆切はありません。空いているところで適当なところがあれば早めに申込み、そこが埋まればそれでお終いとなります。

希望するところがない場合は新たな求人が出るまで待って下さい。これからはぐずぐずしているとダメです。出来るだけ早め早めに対応していかないと他校生を含めて他の人にどんどん先を越されてしまいます。これからまた1からの仕切り直しです。新しい求人票は必ず見て、これというところがあれば早めに進路室へ申し出て下さい。



進学者は資格だけにとらわれないこと

今世の中は大卒や専門学校卒業者にとっても大変厳しい就職状況となっています。そんな中でいわゆる教養系の分野へ進むよりも、就職のしやすい資格を取れる分野への希望が多くなっています。保育士や看護師等、士という資格に直結する分野です。しかし現実には例えば保育士の資格を取って学校を卒業しても、全員が正規の採用で就職が決まっているわけではありません。各分野も希望者が殺到し臨時採用というケースも意外に多いのも事実です。しかも正規採用になるまで何年もかかっているのです。

資格が即、職業に直結すると安易に捉えても、現実には学校を卒業してもそれなりの学力を付けないと、簡単に正規社員として採用されにくいことも肝に銘じておく必要があるでしょう。

世の中は必ずしも資格の必要な職業ばかりではなく、多くの人是一般の会社員として働いています。狭い分野に限定させるよりも幅広く学ぶ教養系の分野へ進学し、後々自分の進路を広げるといっても必要かもしれません。すでに進学先を決め資格を目指している人は何としてもその国家試験等に合格し資格が取得でき、かつその職に正規に就けるよう進学後に頑張るって欲しいものです。